

認知症になっても
安心して暮らせる
錦江町をめざして



認知症フレンドリーコミュニティ構築促進事業

- ① 正しい知識** 認知症は誰にとっても身近な事柄で「普通のこと」「自分ごと」です。認知症とともにより良く生きるために、全ての町民で正しく理解していきます。
- ② つながりの場** 認知症を理由に社会と切り離されることなく、やりたいことにチャレンジし、社会や当事者同士でつながれる仕組みや場所を整えていきます。
- ③ 環境整備** 認知症や高齢により認知機能が低下しても、生活しやすく使いやすいまちへと変えていきます。認知症の人にとってやさしいまちは誰にとってもやさしいまちとなります。



地域で暮らす認知症の方は、ご近所やお店の人の声かけが支え。支え合う輪が広がる地域にしていきたい。

河野 梨香 さん
社会福祉協議会訪問介護事業所



永田 泰久 さん
錦江町シルバー人材センター

シルバーで働く人が認知症になっても、「こういった仕事があるよ」と一緒に考えたい。

より多くのメンバーや家族が、つながれるよう、施設の車の活用等、移手段を考えていきたい。

武元 慎吾 さん
居宅介護支援事業所 南松園



川口 初美 さん

看護小規模多機能介護事業所 宝寿



施設に来た時よりも、帰る時の利用者さんが元気になる、そんな場所にすることが私の役割。

認知症の間違った捉え方を、調整する、つなぎ役、橋渡しの「翻訳機」になりたい！

馬場 みなみ さん
NPO 法人たがやす代表理事



「おやつ一緒に食べよう」とか、「うちに来て」と認知症の人も誘いあえる、身近に寄り合える場所を作りたい。

銀行での高齢者の課題も増え、ジレンマがある。それでも、地方都市だからできる新しい取り組みに期待します。

未来 に向けた まちづくり 活動 実践中！

あなたも一緒に参加しませんか？

今熊 千和子 さん
民生委員・介護家族



陣之内 敦 さん
鹿児島銀行大根占支店



認知症カフェで話すと、気持ちが軽くなる。私が体験した介護を、みんなにアドバイスしたい。

森 知美代 さん
家族会メンバー



山中 陽 さん
よろっで 管理者



よろっでの裏の畑作業を通した町内外の多世代交流が好評。認知症の人も一緒にできるといいな。

認知症になって、突然、生き方が変わるわけではない。その人の生活を理解した体制づくりができればいいな。

この事業が発展していくように医者の立場で口を出します。将来の「わたしのこともよろしくね」を条件に。

みんなと喋った方がいいな。みんな幸せになるもん。冗談喋って、元気になるよ〜。

要介護・要支援者、介護者も、一緒にリラックス・リフレッシュできる「ヨガ」活動実践中！「ヨガ教室」を開催したい！

桜木 希 さん

肝属郡医師会立病院 公認心理師



今隈 満 さん

肝属郡医師会立病院 医師



竹下 榮 さん

ゆうゆうカフェメンバー



落司 道子 さん
町議会議員



認知症を理由に地域の集いへ来ない人もいるけど、声をかける。今年は、みんなで集まりたい。

黒瀬 正 さん
民生委員



鶴田 ヨリ子 さん
介護家族



介護する人ともっとつながりたい。いいことも腹立つことも、本心を話せる場が嬉しい。

地域に根差した店だからこそ、顔なじみの関係がある。高齢の顧客について、家族と連絡を取り合う関係性もあり、それを深め、町内に広めていきたい。

お店の中でスローレジの設置、誰にでもわかりやすい表示にしたい。もっと「どなたでもどうぞ」と言えるお店にしたい。

長寿会とサロンや子供会など連携して、日常的な声掛けから、高齢者のちょっとした変化に気づいていきたい。

移動式ゆうゆうカフェとか、つながりと対話の機会をつくり、僕ら世代が動かしていきたい。

大山 明人 さん
新鮮倶楽部 おおやま

坂下 奈津子 さん
坂下水産 ふる里館



川越 裕子 さん
町議会議員



天野 雄一郎 さん
NPO 法人たがやす理事



子どもたちは、ゆうゆうカフェに大喜びだった。大根占小の授業実績から、他校へ推薦したい。

吉國 三宝 さん
大根占小学校 校長



認知症関係なく、いろんな人の居場所づくり、分け隔てなく過ごせるコミュニティをつくりたいな。

認知症の人が一人でできないことは、地域や隣近所と助け合って、支えあっていきたい。

認知症で困っている人がいれば、私も嫌な経験をしているから、「気にするな」と励ましてあげたい。

僕がもし、同級生の名前を忘れてしまったら、かなしくて泣きたくなります。認知症の人を助けてあげたいです。

認知症になったら終わりではないと授業でわかった。自分が努力して、周囲も助けられることが良いと思った。

大山 ゆりか さん
小学5年生



知り合いや身内が認知症になったら、相手を否定せず、やさしく答えてあげたい。

堀ノ内 誠 さん
肝属郡医師会立病院 相談員



厚ヶ瀬 博文 さん
町議会議員



厚ヶ瀬 通弘 さん
ゆうゆうカフェメンバー



堀ノ内 陽太 さん
小学4年生



有島 奈緒 さん
小学6年生



認知症フレンドリーコミュニティ構築促進事業

錦江町2021年度の歩み

2021年5月

- ・ ゆうゆうカフェ（認知症カフェ）スタート

6月

- ・ 大根占小学校 認知症についての学習（畿央大学・熊本大学・熊本県立大学）、認知症当事者丹野さんとの交流会
- ・ 庁内キックオフミーティング
- ・ ゆうゆうカフェ（丹野さんとの交流）

7月

- ・ ゆうゆうカフェ

9月

- ・ ゆうゆうカフェ（丹野さんとのオンライン交流）

10月

- ・ 町内キックオフミーティング
- ・ 認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム会議
- ・ DAYS BLG！研修①（東京都町田市）

11月

- ・ 認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム会議（ネーミング、登録要件）
- ・ 認知症まちづくりファシリテーター養成講座（東京都）
- ・ ゆうゆうカフェ（大根占小学校での花の苗植え替え）

12月

- ・ DAYS BLG！研修②（東京都町田市）
- ・ 認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム会議（登録要件修正案、DAYS BLG！視察報告）
- ・ 認知症サポーター養成講座大根占小学校（劇団「南の星座」）
- ・ ゆうゆうカフェ（大根占小学校での花壇施肥・児童との交流）

2022年1月

- ・ 認知症フレンドリーパートナー養成講座

2月

- ・ 認知症フレンドリーパートナー養成講座
- ・ ゆうゆうカフェ訪問型

3月

- ・ 認知症フレンドリーパートナー養成講座
- ・ 認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム会議（ビジョン策定）
- ・ ゆうゆうカフェ（大根占小学校卒業式）

2022年度
新しい仲間を
募集中！

認知症について学びたい方！

認知症フレンドリーパートナー養成講座を受講してみませんか？

当事者同士・家族同士で
つながりたい方！

ゆうゆうカフェ参加者を募集しています。気軽な気持ちで参加してみませんか？

暮らしやすいまちを作りたい方！

ご自身の暮らしや職場でできることを、一緒に考えてみませんか？

①

正しい知識

認知症当事者の思いなどから理解を深め、自ら何ができるかを考えます。



★ 認知症フレンドリーパートナー養成講座……認知症を正しく理解し、偏見のない地域づくりを進めて行くための錦江町オリジナルの講座です。今年度スタートし、これまでに60名の方に受講していただきました。

★ DAYS BLG！研修……東京都町田市のDAYS BLG！で1日を過ごし、当事者主体の認知症ケアを学びました。錦江町でのまちづくりや、ゆうゆうカフェでの実践に活かしています。

②

つながりの場

認知症当事者同士でつながり、語り合い、自ら挑戦したいことに取り組みます。



★ ゆうゆうカフェ（認知症カフェ）……認知症当事者や介護家族の出会いの場。ここでは、普段話せないような内容でも不思議と話すことができます。素でいられるこの場所で、生活の知恵や、これからチャレンジしたいことを語り合っています。大根占小学校では、子どもたちと花の苗植え替え、施肥作業をしました。「今後もみんなが喜ぶようなことをしたい」と意欲的に活動しています。

③

環境整備

認知症フレンドリーコミュニティ推進チームで、まちづくりを検討します。



★ キックオフミーティング……錦江町認知症フレンドリーコミュニティ構築促進に向けた町内キックオフミーティングを開催しました。認知症当事者、家族、民生委員、町議会議員、介護・福祉事業所、建設業、学校、警察、金融機関、商店、農業法人、タクシー会社、地域づくり団体など、様々な分野の方、約80名にご参加いただきました。

★ 認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム会議……推進チーム65名（2022年3月時点）の多様な主体で「認知症フレンドリーな錦江町」を目指して、まちづくりの方策等を検討、実施しています。

「認知症になっても

まだまだできることが山盛りたくさんある」

認知症フレンドリーコミュニティ推進チームの名称は、「発見！驚き！」「あったかい、安心」「集まる場、守る場」「つなぐ、地域」と言う4つの思いを込めた、「あ!! to HOME」（あつとほーむ）となりました。